

# 市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

平成31年4月1日号への掲載の申込みは、2月26日(火)までに、広報広聴課  
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

## 子育て・教育

### 講演会「親と子のしなやかな心を育てる」

☎3月9日(土)午後1時30分～3時30分  
場市民活動センター第1・2会議室(本町タワー4階) ☎イライラ・怒りの感情の整え方を学び、家族との関係を改善、子育てを楽しむための講座 ☎戸部浩美さん ☎無料 ☎0～6歳の保護者 ☎先着50人  
用講演会申込フォーム <https://bit.ly/2EpHm1h> ☎三島「親育ち」を応援する会・広海 ☎090・9906・6582

## 文化

### 第67回新春書道展

☎2月8日(金)～11日(月・祝)午前10時～午後5時(8日は午後1時から、11日は午後4時まで) ☎生涯学習センター3階市民ギャラリー ☎子供たちの書展。市長賞をはじめとする表彰あり ☎新興岳南書作家協会・久保田 ☎975・3195

### 第36回三島書作家協会展

☎2月8日(金)～11日(月・祝)午前10時～午後5時(8日は午後1時から、11日

は午後4時まで) ☎生涯学習センター3階多目的ホールほか ☎漢字・かな書道作品展示、11日午後1時30分から同センター前庭筆塚にて使用済みの筆に感謝し、焼納する「筆塚祭」を開催 ※参加自由 ☎無料 ☎久保田 ☎975・3195

### フォトアート三島第24回写真展

☎2月14日(休)～17日(日)午前9時～午後6時(17日は午後4時まで) ☎生涯学習センター3階市民ギャラリー ☎メンバー11人による写真展 ☎無料 ☎フォトアート三島事務局・齋藤 ☎971・2791

### 伊豆ハイキングクラブ 第24回山と文化展開催

☎2月21日(休)正午～午後5時、22日(金)午前8時30分～午後3時 ☎葦山文化センター時代劇場映像ホール(伊豆の国市四日町) ☎会員の絵画、写真、手工芸、ビデオの展示 ☎無料 ☎柳澤 ☎987・6903

### 第15回響け♪愛のソナタ チャリティーコンサート in 三島

☎4月27日(土)開場午前11時30分、開演午後0時30分～4時、場市民文化会館大ホール ☎3,000円 ☎民芸衆団奏鳴曲・高岡 ☎090・7313・2337  
✉mingeisyuudansonata@yahoo.co.jp

## スポーツ・健康

### NPO 法人エンジョイスポーツ三島 教室発表、体験イベント

☎2月16日(土)午前9時～午後2時、当日受付午前8時30分 ☎市民体育館

☎太極拳、柔道、ハイパー・テニス、幼児・児童体育、フットサル、トランポリン体験 ☎無料 ☎体育館シューズ、タオル、飲み物 ☎早めに終了する場合あり ☎NPO 法人エンジョイスポーツ三島 ☎080・3603・4809

### 三島ジュニアバドミントンクラブ 会員募集

☎4月～2020年3月毎週土曜日午前9時～正午 ☎場東小学校 ☎年会費12,000円、入会金1,000円、保険料800円 ☎2019年度新小学3年～新5年生 ☎10人 ☎中野 ☎090・6075・8993

## その他

### 第41回静岡県東部鉢花展覧会

☎3月9日(土)午前9時～午後4時30分、10日(日)午前9時～午後2時 ☎楽寿園展20示場 ☎県東部地域で生産される鉢物。花壇苗などを展示 ※各日先着300人に苗の無料配布 ☎静岡県東部鉢物研究会・森本 ☎080・5134・7560

### 知的障がい者の自立生活ドキュメンタリー映画「道草」上映&トーク

☎3月21日(木・祝)午後1時～4時45分 ☎生涯学習センター3階講義室 ☎知的障がい者の地域生活を迫ったドキュメンタリー映画の上映と映画に登場するリョースケさんの父親のお話 ☎無料 ☎どなたでも用・☎3月16日(土)までに自立生活センターアシストミル ☎976・3432



▲佐野美術館で開催「紙の日本刀を作ろう!」、QRコードはブログ

文化イベントでは、ひとつひとつ、どんな人が、どんな思いで開催するのか、どんな作品に出会えるのか、できるだけ丁寧にお伝えすることを心掛けています。

紹介したイベントに行った感想や、インタビュ記事への反応があると嬉しく、やりがいを感じています。

文化イベントでは、ひとつひとつ、どんな人が、どんな思いで開催するのか、どんな作品に出会えるのか、できるだけ丁寧にお伝えすることを心掛けています。

紹介したイベントに行った感想や、インタビュ記事への反応があると嬉しく、やりがいを感じています。

**シビックプライド**  
の旗手  
みしまの文化  
応援プロジェクト  
代表 住麻紀さん

シビックプライドとは…まちに誇りや愛着を持ち、主体的にまちづくりに関わること。当事者意識の高い市民がこのまちの主役です。

# 歴史の小箱

No.369

地域の歴史 玉沢

今回は箱根西麓の山中にある集落、玉沢を紹介いたします。

玉沢は、元の地名を大木沢といい、箱根山中で大きな木が何本もそびえ水が湧き出る谷間でした。江戸時代の始め(一六〇三)に日蓮宗の名刹「経王山妙法華寺」が移転してくるにあたり、その寺領(朱印地)となり、伽藍(寺院の建築物)が建造されます。地名の由来は、「玉泉の境に宗門の法水が伝えられ、衆生に沢を得さしむる」という趣旨で「玉沢」と称したといひます。

寺の移転の後、寺を支える人々が門前や寺域に定住し、七軒百姓と呼ばれました。七軒百姓は寺から土地を分けてもらい、寺の手伝い賃をもらっていたこともあり、山中の集落ながら植林・炭焼きなど林業は成立しませんでした。

郷土資料館 ☎ 971・8228

郷土資料館では刀剣乱舞コラボ企画として復元刀を展示しています。開催期間は2月24日(日)までです。

また、谷田から玉沢を通り三ツ谷新田に通じる細い玉沢道が

あります。江戸時代に東海道西坂を進む大名行列などを避けた旅人の裏道として利用されたと伝えられています。

明治九年(一八七六)、妙法華寺から集落が独立して一村となり、玉沢村が成立します。明治二十一年の戸数は十九戸でした。住民は、寺の山を開墾し、畑作や養蚕、馬の飼育などを行いました。その後、乳牛も飼うようになります。



▲現在の玉沢集落

妙法華寺は、日蓮聖人の弟子六老僧の第一である日昭上人が鎌倉に建立した寺です。十六世紀前半に戦乱を避け越後国(新潟県)村田へ逃れ、一五九四年に修善寺加殿の妙法寺内に移転し、一六二一年伽藍造営の完了を受けて玉沢の地に移りました。

この移転に尽力したのが、徳川家康の側室養珠院お万の方と英勝院お勝の方です。お万の方

は、紀州頼宣公と水戸藩祖頼房公の生母で熱心に日蓮宗を信仰していました。彼女らの援助を受け、妙法華寺は広大な寺域に七堂伽藍を構え二六〇余棟の壮麗な伽藍堂舎を備えていました。しかし、十八世紀後半の火災により多くの伽藍を失います。

また十九世紀初め、住職日桓上人(二瓢)は俳諧に優れ、小林一茶などと親交を結ぶ一方、玉沢の復興にも努めました。書院や庫裏など多くの建物の造営を行います。このように幾多の移転や災害にあいながらも、日蓮聖人由来の宝物は代々大切に守り伝えられました。

桜や紅葉の名所として市民の憩いの場でもある山里の玉沢ですが、近年大きな変化を迎えています。玉沢集落のすぐ近くに三島総合病院と静岡県総合健康センターができたこと、伊豆縦貫自動車道の三島玉沢インターが設置されたことで、周辺道路の車の通行が格段に増加しています。

静かな山の村はモータリゼーションの激しい流れにさらされ、人々に沢を与え続けることができるでしょうか。

## ぼくのおじいちゃん

当番 いけや こうすけさん

ぼくのおじいちゃんは、小学校のスクールガードをやっていて、横断歩道でぼくたちの登下校を見守ってくれています。

おじいちゃんは、趣味で野菜作りをしていて、取れたての野菜や旬の野菜などをくれます。苦手な野菜でも、おじいちゃんが作った野菜なら食べることができます。

運動会などの学校の行事では、必ず僕を見に来てくれていて、うれしんです。

これからも、元気でぼくの成長を見守って欲しいです。



山本武雄(78才)

池谷 幸亮(山田小峰)